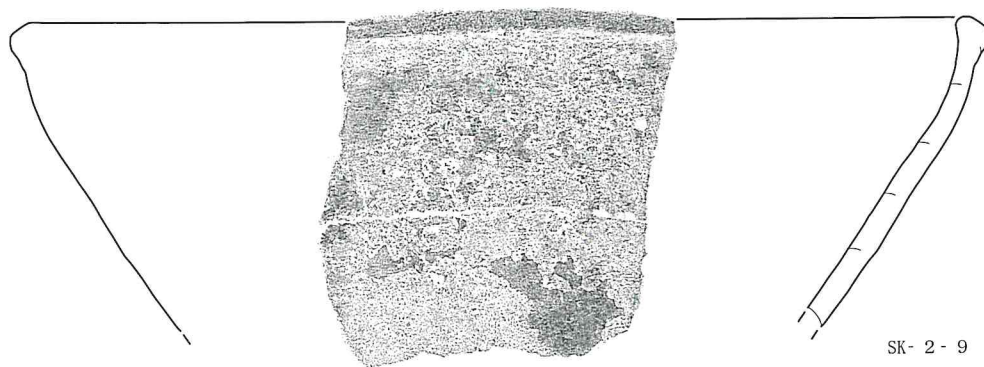
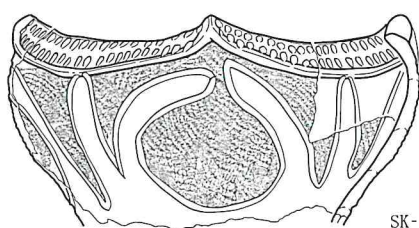


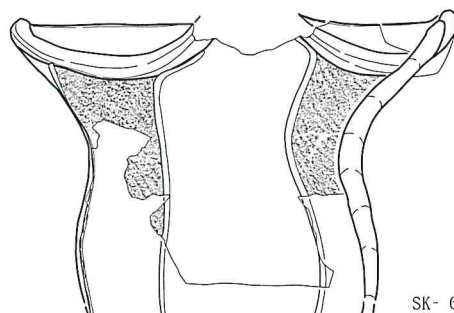
SK-2-8



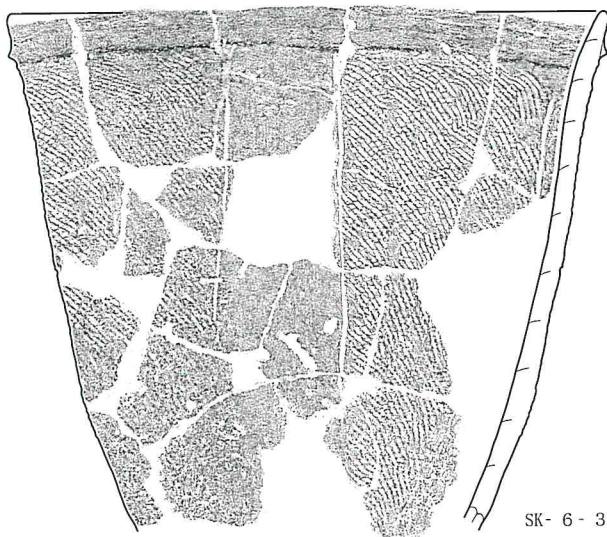
SK-2-9



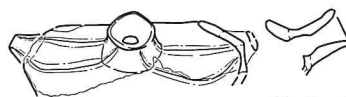
SK-6-1



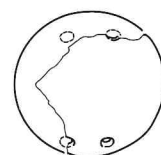
SK-6-2



SK-6-3



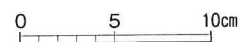
SK-6-4



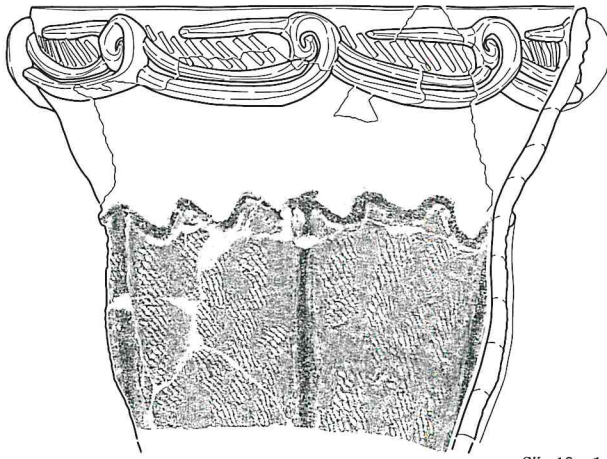
SK-6-5



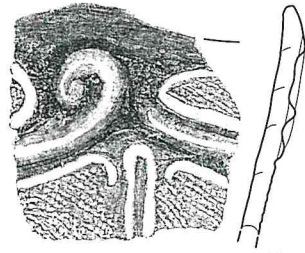
SK-6-6



第38图 出土遺物実測図(9)



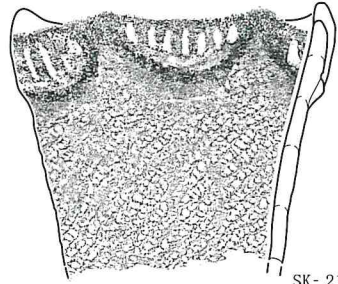
SK-19-1



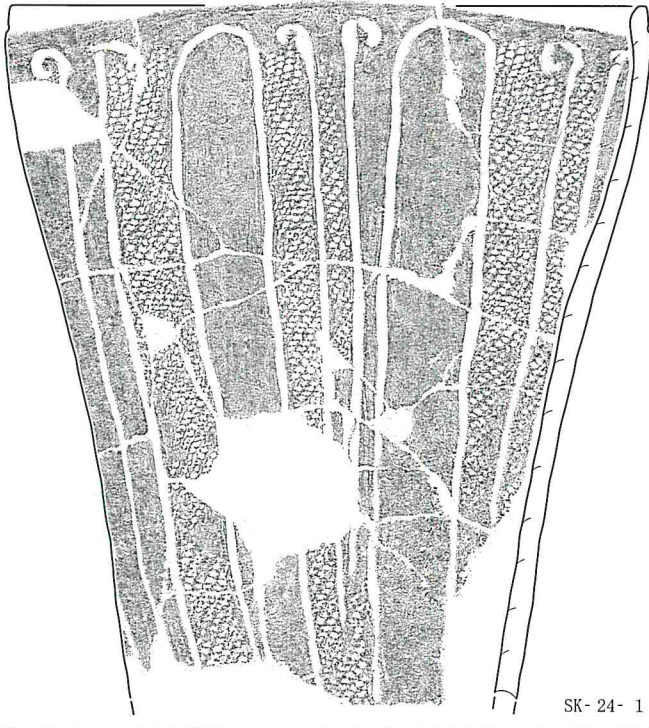
SK-19-2



SK-23-1



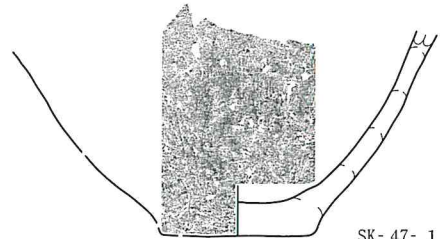
SK-21-1



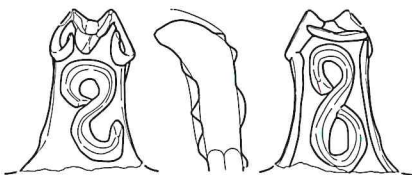
SK-24-1



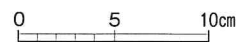
SK-33-1



SK-47-1



SK-47-2



第39图 出土遺物実測図(10)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
SI-1	1	土師器 坏	口径: 12.2 底径: - 器高: 5.1	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、暗褐色粒 ④4/5	外面: 口縁部ヨコナデ。体部上半ナデ、体部下半~底部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。体部~底部ナデ後放射状ミガキ。	
	2	土師器 坏	口径: (12.6) 底径: - 器高: 4.8	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、赤褐色粒 ④口縁部 2/3 欠損	外面: 口縁部~体部上位ヨコナデ。体部中位~底部ヘラナデ後、一部ヘラケズリ。 内面: 口縁部~体部上半ヨコナデ。体部下半~底部ヘラナデ。	
	3	土師器 埴	口径: (10.5) 底径: - 器高: 8.6	①良好 ②褐/褐 ③石英、白色粒 ④口縁部~体部上半 2/3 欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。体部上半ナデ。体部下半~底部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。体部~底部ヘラナデ。	
	4	土師器 埴	口径: (12.0) 底径: - 器高: 14.9	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、褐色粒 ④口縁部 1/4・体部一部欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。体部上半ヘラナデ後、斜位ミガキ。体部下半~底部ヘラケズリ。内面: 口縁部横位ヘラナデ。体部~底部ヘラナデ後、体部上半指ナデ。	
	5	土師器 高坏	口径: 13.1 底径: 10.6 器高: 12.2	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒 ④脚部一部欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ後、一部ヘラケズリ。脚部ヘラナデ後斜縦位ミガキ。端部ヨコナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ後放射状ミガキ。脚部ヘラナデ、上位に絞り目。端部ヨコナデ。	
	6	土師器 高坏	口径: 18.0 底径: - 器高: <13.0>	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④口縁部~脚部 1/3・裾部欠損	外面: 口縁部ヨコナデ後斜位ミガキ。坏部ヘラナデ。脚部ヘラナデ後縦位ミガキ。裾部ヨコナデ後斜横位ミガキ。 内面: 口縁部ヨコナデ後斜位ミガキ。坏部ヘラナデ後ミガキ。脚部絞り目後ナデ、下端ヘラケズリ。裾部ヨコナデ。	
	7	土師器 高坏	口径: 19.1 底径: 13.6 器高: 15.3	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④裾部 1/3 欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ。脚部ヘラナデ後縦位ミガキ。裾部ヨコナデ後斜位ミガキ。 内面: 口縁部ヨコナデ後斜位ミガキ。坏部ヘラナデ後ミガキ。脚部絞り目。裾部ヨコナデ。	
	8	土師器 高坏	口径: 16.9 底径: - 器高: <6.2>	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、赤褐色粒 ④坏部のみ	外面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ後斜位ミガキ。坏部ヘラナデ。	
	9	土師器 高坏	口径: - 底径: 14.5 器高: <9.5>	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④脚部のみ、裾部 1/3 欠損	外面: 脚部ヘラナデ後縦位ミガキ。裾部ヨコナデ後斜位ミガキ。 内面: 脚部絞り目。裾部ヨコナデ。	
	10	土師器 高坏	口径: - 底径: 17.0 器高: <8.2>	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、赤褐色粒 ④脚部のみ、裾部 1/3 欠損	外面: 脚部ヘラナデ。裾部ヨコナデ後、上段斜位ミガキ。 内面: 脚部ナデ。裾部ヨコナデ。	
	11	土師器 瓶	口径: 27.2 底径: 7.6 器高: 25.6	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④口縁部 1/3 欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ、下端部ヘラケズリ。	
	12	土師器 甕	口径: 14.6 底径: 5.6 器高: 23.1	①良好 ②にぶい赤褐/橙 ③石英、白色粒、黑色粒、赤褐色粒 ④ほぼ完形	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。底部ナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部~底部ヘラナデ。	
	13	土師器 甕	口径: 14.9 底径: 5.4 器高: 24.5	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④一部欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。底部ナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部~底部ヘラナデ。	
	14	土師器 甕	口径: 16.4 底径: 6.4 器高: 29.0	①良好 ②橙/橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④口縁部 1/3 欠損	外面: 口縁部ヨコナデ後、木口状工具による縦位ナデ。胴部ヘラナデ。底部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部~底部ヘラナデ。	
	15	土師器 壺	口径: 21.3 底径: - 器高: <9.1>	①良好 ②にぶい橙/にぶい橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④口縁部~胴部上位	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部上位ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部上位ヘラナデ。	
	16	土師器 手捏ね	口径: (5.8) 底径: (2.0) 器高: 3.3	①良好 ②褐/にぶい黄褐 ③白色粒 ④1/4	外面: 口縁部~底部ヘラナデ。 内面: 口縁部~底部ヘラナデ。	
	17	石製模造品 剣形	長さ: 4.2 最大幅: 1.45 厚さ: 0.2 重さ: 2.24g	／石材: 滑石。 残存: 一部欠損。		
SI-2	1	弥生土器 高坏	口径: (13.8) 底径: - 器高: <6.5>	①良好 ②赤褐/赤褐 ③石英、黑色鈣物、赤色粒 ④坏部 1/4	外面: 口縁部横位ミガキ。坏部斜縦位ミガキ。赤彩。 内面: 口縁部~坏部斜横位ミガキ。赤彩。	
	2	弥生土器 甕	口径: (9.5) 底径: - 器高: <7.2>	①良好 ②にぶい黄/にぶい黄 ③石英、黑色鈣物 ④口縁部~胴部中位 1/3	外面: 口縁部ヨコナデ。頭部 8 分割 2 連止め簾状文 (6 歯 / 9mm)。胴部ヘラナデ後ハケメ。 内面: 口縁部ヘラナデ。胴部ヘラナデ。	
	3	弥生土器 壺	口径: - 底径: - 器高: -	①良好 ②にぶい黄橙/にぶい橙 ③石英、角閃石、白色粒、褐色粒 ④胴部 1/6	外面: 胴部ハケメ後 4 段波状文 (8 歯 / 15mm) → 横位単沈線一円形貼付文。 内面: 胴部ヘラナデ。	
SI-3	1	土師器 高坏	口径: 18.1 底径: - 器高: <6.0>	①良好 ②橙/橙 ③石英、黑色鈣物、チャート ④坏部のみ	外面: 口縁部ヨコナデ後斜縦位ミガキ。坏部ヘラナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ後斜縦位ミガキ。坏部ヘラナデ。	
	2	土師器 高坏	口径: 17.4 底径: - 器高: <6.3>	①良好 ②橙/橙 ③石英、黑色鈣物、チャート ④坏部 3/4	外面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ。	
	3	土師器 高坏	口径: - 底径: (12.8) 器高: <7.6>	①良好 ②橙/橙 ③石英、黑色鈣物、チャート、褐色粒 ④脚部 1/3	外面: 脚部ナデ後縦位ミガキ。裾部ヨコナデ後斜位ミガキ。 内面: 脚部絞り目。裾部ヨコナデ。	
SI-4	1	須恵器 坏	口径: 10.1 底径: 5.1 器高: 3.3	①酸化焰 ②橙/橙 ③石英、角閃石、チャート、白色粒 ④ほぼ完形	外面: 轆轤整形。底部右回転糸切り未調整。 内面: 轆轤整形。	
SI-5	1	須恵器 碗	口径: (14.0) 底径: (7.3) 器高: 6.1	①酸化焰 ②黒/橙 ③石英、黑色鈣物 ④1/3	外面: 轆轤整形。底部回転糸切り。高台貼付後周縁ナデ。 内面: 轆轤整形。口縁部~体部横位ミガキ→体部放射状ミガキ。黒色処理	
	2	灰釉陶器 碗	口径: (16.9) 底径: - 器高: <4.8>	①還元焰 ②灰白/灰白、釉: 灰白 ③黑色粒 ④口縁部~体部 1/3	外面: 轆轤整形。 内面: 轆轤整形。	灰釉漬け掛け。 虎浜山 1 号窯式段階 (10 世紀後半)。

第4表 遺物観察表 (1)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
SI-5	3	灰釉陶器碗	口径：－ 底径：(7.2) 器高：(3.2)	①酸化燻 ②灰白/灰白、釉：灰白 ③白色粒、黒色粒 ④高台部 1/8	外面：轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	釉漬け掛け。 虎溪山1号窯式段階 (10世紀後半)。
	4	石製品 砥石	長さ：(8.1)	最大幅：4.0 最大厚：2.7 重さ：81.58g / 石材：流紋岩。 残存：上端部欠損。4面使用。		
SI-6	1	須恵器碗	口径：14.6 底径：－ 器高：(4.9)	①酸化燻気味 ②にぶい黄橙/灰白 ③石英、黒色鉱物、褐色粒 ④口縁部～体部 1/3 欠損、高台剥落	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器碗	口径：－ 底径：7.6 器高：(4.5)	①酸化燻気味 ②灰白/灰黄 ③石英、黒色鉱物、褐色粒 ④体部～高台部 1/4	外面：轆轤整形。底部切り離し。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	3	灰釉陶器碗	口径：(12.3) 底径：(6.4) 器高：3.8	①酸化燻 ②淡黄/淡黄、釉：灰白 ③黒色鉱物 ④ 1/4	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	灰釉漬け掛け。 虎溪山1号窯式段階 (10世紀後半)。
SI-7	1	須恵器 杯	口径：11.3 底径：5.3 器高：3.3	①酸化燻気味 ②にぶい橙/にぶい橙 ③石英、角閃石、白色粒 ④ 1/2	外面：轆轤整形。底部右回転系切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 杯	口径：11.2 底径：5.4 器高：3.4	①酸化燻気味 ②にぶい黄橙/にぶい黄橙 ③石英、片岩、チャート ④ほぼ完形	外面：轆轤整形。底部右回転系切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 碗	口径：10.6 底径：5.0 器高：3.8	①酸化燻気味 ②浅黄橙/浅黄橙 ③石英、白色粒 ④ 2/3	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 碗	口径：12.4 底径：5.9 器高：4.4	①酸化燻 ②にぶい橙/にぶい橙 ③石英、角閃石、白色粒、褐色粒 ④ 1/6	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 碗	口径：15.5 底径：－ 器高：(5.9)	①酸化燻 ②明赤褐/明赤褐 ③石英、角閃石、白色粒 ④口縁部～体部 1/2	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	6	灰釉陶器 皿	口径：13.9 底径：6.8 器高：2.9	①還元燻 ②灰白/灰白、釉：灰白 ③黒色鉱物、白色粒 ④口縁部一部欠損	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	灰釉漬け掛け。 大原2号窯式段階 (10世紀前半)。
	7	灰釉陶器 長頸壺	口径：－ 底径：－ 器高：(8.0)	①還元燻 ②灰白/灰白、釉：オリーブ ③黒色鉱物、白色粒 ④頸部 1/4	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。	
	8	須恵器 瓶	口径：－ 底径：(24.2) 器高：(11.6)	①酸化燻気味 ②にぶい黄橙/にぶい黄橙 ③石英、角閃石、小礫、白色粒 ④胴部～底部 1/6	外面：轆轤整形後、胴部ナデ。 内面：轆轤整形。	
	9	羽釜	口径：(20.3) 底径：－ 器高：(10.2)	①酸化燻 ②橙/橙 ③石英、角閃石、小礫、暗褐色粒 ④口縁部～胴部上位 1/4	外面：轆轤整形。胴部に縦位ナデ。鈔貼付。 内面：轆轤整形。	粘土紐積み上げ痕 明瞭。
	10	羽釜	口径：(21.4) 底径：－ 器高：(14.2)	①還元燻 ②灰/黄灰 ③石英、白色粒 ④口縁部～胴部上半 1/3	外面：轆轤整形。胴部に縦位ナデ。鈔貼付。 内面：轆轤整形。	粘土紐積み上げ痕 明瞭。
	11	鍛冶関連遺物 椀形鍛冶滓	長さ：7.9 cm	最大幅：6.0 cm 最大厚：3.7 cm 重さ：191.16 g / 残存：一部欠損。		
SI-8	1	須恵器 蓋	口径：－ 底径：－ 器高：(1.6)	①還元燻 ②オリーブ灰/オリーブ灰 ③石英、赤色粒 ④摘みのみ	外面：轆轤整形。摘み貼付。摘み径 (2.4) cm。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 杯	口径：(13.1) 底径：5.8 器高：4.7	①酸化燻 ②灰白/灰白 ③石英、角閃石 ④口縁部～体部 2/3 欠損	外面：轆轤整形。底部左回転系切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	3	須恵器 杯	口径：(13.8) 底径：7.0 器高：4.9	①酸化燻 ②灰黄/にぶい黄橙 ③石英、黒色鉱物 ④ 1/2	外面：轆轤整形。底部回転系切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 碗	口径：(13.7) 底径：(5.8) 器高：5.2	①酸化燻 ②灰/灰 ③石英、黒色鉱物、小礫 ④ 1/2	外面：轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 碗	口径：(15.7) 底径：6.3 器高：5.2	①酸化燻 ②灰黄/淡黄 ③石英、赤色粒、小礫 ④ 1/2	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	6	須恵器 碗	口径：(16.8) 底径：－ 器高：(6.0)	①酸化燻気味 ②黄灰/にぶい黄 ③石英、角閃石、白色粒、赤色粒 ④ 1/4	外面：轆轤整形。高台剥離痕あり。 内面：轆轤整形。	
	7	須恵器 碗	口径：15.5 底径：9.2 器高：8.5	①還元燻 ②灰/灰 ③石英、黒色鉱物 ④口縁部～体部 1/3 欠損	外面：轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	8	須恵器 鉢	口径：(16.9) 底径：－ 器高：(3.6)	①酸化燻 ②灰白/灰 ③黒色鉱物 ④口縁部～体部上位 1/8	外面：轆轤整形。 内面：轆轤整形。	
	9	土師器 甕	口径：(20.2) 底径：－ 器高：(20.8)	①普通 ②明赤褐/明赤褐 ③石英、黒色鉱物 ④口縁部～胴部 1/3	外面：口縁部ヨコナデ、指頭圧痕。胴部ヘラケズリ。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
	10	土製品 土鏝	長さ：4.6 最大幅：1.7 最大厚：1.7 重さ：12.58 g	色調：にぶい褐。 残存：完形。		
	11	鉄製品 刀子	長さ：4.3 最大幅：1.75 厚さ：0.5 重さ：6.7 g	残存：刃部・柄部欠損。		片関。
	12	鉄製品 鎌	長さ：14.7 最大幅：3.9 厚さ：0.45 重さ：52.75 g	残存：両端部欠損。		

第5表 遺物観察表 (2)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
SI-8	13	鍛冶関連遺物 椀形鍛冶滓	長さ: 9.9	最大幅: 5.7 最大厚: 4.0 重さ: 252.87 g / 残存: 一部欠損。		
SI-9	1	土師器 高坏	口径: (19.6) 底径: 13.6 器高: 13.8	①良好 ②にぶい黄褐 / 橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④坏部 5/6 欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。坏部ヘラナデ。脚部ヘラナデ。裾部ヘラナデ、 端部ヨコナデ。 内面: 口縁部ヨコナデ。坏底部ナデ。脚部ヘラナデ。裾部ヨコナデ。	
SI-10	1	灰釉陶器 皿	口径: (12.3) 底径: 7.6 器高: 2.6	①還元焰 ②灰白 / 灰白、釉: 灰オリーブ ③白色粒、黒色粒 ④体部 2/3 欠損	外面: 轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	釉薬漬け掛け。 虎渓山1号窯式段階 (10世紀後半)。
	2	鉄製品 刀子	長さ: 4.3	最大幅: 1.7 厚さ: 0.3 重さ: 4.75 g / 残存: 刃部・柄部欠損。		片関。
SI-11	1	灰釉陶器 皿	口径: (12.2) 底径: (6.9) 器高: 2.6	①還元焰 ②灰黄 / 黄灰、釉: 灰黄 ③石英、黒色鉱物 ④1/2	外面: 轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	釉薬漬け掛け。 大原2号窯式段階 (10世紀前半)。
	2	灰釉陶器 碗	口径: (16.6) 底径: 8.9 器高: 6.8	①還元焰 ②灰黄 / 灰白、釉: 灰白 ③石英、黒色鉱物 ④口縁部 3/4 欠損	外面: 轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	釉薬漬け掛け。 大原2号窯式段階 (10世紀前半)。
	3	羽釜	口径: (19.2) 底径: - 器高: <13.4>	①酸化焰 ②にぶい黄橙 / 灰黄 ③チャート、黒色鉱物、褐色粒 ④口縁部~胴部上半 1/2	外面: 轆轤整形。胴部に斜縦位ヘラナデ。鈔貼付。 内面: 轆轤整形。	
	4	鉄製品 筒状鉄製品	長さ: <4.7>	最大幅: 2.0 厚さ: 1.2 重さ: 15.98 g / 残存: 上端部欠損。		正面の裂け目は錆 ぶくれによる破損 か。用途不明。
SI-12	1	土師器 甕	口径: 18.8 底径: 4.4 器高: 27.2	①普通 ②明赤褐 / 明赤褐 ③石英、黒色鉱物、片岩 ④胴部一部欠損	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部~底部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部~底部ヘラナデ。	
	2	土師器 甕	口径: 20.0 底径: - 器高: <18.6>	①普通 ②橙 / 橙 ③石英、角閃石、黒色鉱物、白色粒 ④口縁部~胴部中位 4/5	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
SI-13	1	土師器 坏	口径: 12.1 底径: 6.7 器高: 3.9	①普通 ②橙 / 橙 ③白色粒、赤褐色粒 ④口縁部 1/4 欠損	外面: 轆轤整形。体部下半ヘラナデ。底部ナデ。 内面: 轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径: 11.8 底径: 7.8 器高: 3.4	①酸化焰 ②灰黄 / 灰白 ③白色粒 ④完形	外面: 轆轤整形。底部右回転系切り未調整。 内面: 轆轤整形。	
	3	須恵器 盤	口径: (22.7) 底径: (15.4) 器高: 4.1	①還元焰 ②灰白 / 灰 ③石英、白色粒 ④1/2	外面: 轆轤整形。体部下端回転ヘラケズリ。底部回転ヘラケズリ。 高台貼付後周縁回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	
	4	土師器 小形甕	口径: (12.9) 底径: - 器高: <6.1>	①普通 ②明赤褐 / 明赤褐 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④口縁部~胴部上半 1/4	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
	5	土師器 甕	口径: (24.5) 底径: - 器高: <17.5>	①普通 ②橙 / 橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④口縁部~胴部上半 1/5	外面: 口縁部ヨコナデ。頸部指頭圧痕。胴部ヘラケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	内面胴部の調整不明瞭。
	6	土師器 甕	口径: (21.4) 底径: - 器高: <18.7>	①普通 ②橙 / 明黄褐 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部~胴部上半 1/5	外面: 口縁部横位ヘラナデ。胴部ヘラケズリ。 内面: 口縁部横位ヘラナデ。胴部ヘラナデ。	
	7	石製品 砥石	長さ: <10.6>	最大幅: 6.0 最大厚: 4.8 重さ: 355.18 g / 石材: 流紋岩。 残存: 上端部欠損。		3面使用。底面は 非常に平滑。
SI-14	1	須恵器 碗	口径: 10.9 底径: - 器高: 3.7	①酸化焰気味 ②にぶい黄橙 / にぶい黄 ③石英、角閃石、灰色粒 ④高台欠損	外面: 轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	
	2	鉄製品 鑑子カ	長さ: <4.9>	最大幅: 0.9 最大厚: 0.6 重さ: 5.78 g / 残存: 両端部欠損。		
SI-15	1	土師器 甕	口径: (22.1) 底径: - 器高: <19.7>	①普通 ②にぶい橙 / にぶい黄橙 ③黒色鉱物、白色粒、赤褐色粒 ④口縁部~胴部 1/3	外面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ、上端部に指頭圧痕。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
SI-16	1	須恵器 坏	口径: (11.1) 底径: (4.8) 器高: 3.5	①酸化焰気味 ②灰白 / 灰白 ③黒色鉱物、白色粒 ④口縁部~体部 1/2 欠損	外面: 轆轤整形。底部右回転系切り未調整。 内面: 轆轤整形。	
	2	須恵器 坏	口径: 11.3 底径: 4.6 器高: 3.3	①酸化焰 ②にぶい黄橙 / 浅黄 ③黒色鉱物、褐色粒 ④口縁部~体部 2/3 欠損	外面: 轆轤整形。底部右回転系切り未調整。 内面: 轆轤整形。	
	3	須恵器 碗	口径: (8.0) 底径: - 器高: <4.7>	①酸化焰 ②黒 / 黒褐 ③黒色鉱物、白色粒、褐色粒 ④口縁部~底部 1/2、高台剥落	外面: 轆轤整形。体部ナデ。底部回転系切り。高台貼付。 内面: 轆轤整形。	
	4	灰釉陶器 碗	口径: 15.1 底径: 7.3 器高: 4.7	①還元焰 ②灰白 / 灰白、釉: 灰白 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部~体部一部欠損	外面: 轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	釉薬漬け掛け。 大原2号窯式段階 (10世紀前半)。
	5	灰釉陶器 碗	口径: 15.6 底径: 8.6 器高: 5.5	①還元焰 ②灰白 / 灰白、釉: 灰黄 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部~体部一部欠損	外面: 轆轤整形。底部回転系切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	釉薬漬け掛け。 大原2号窯式段階 (10世紀前半)。
	6	須恵器 盤カ	口径: - 底径: (12.4) 器高: <7.4>	①還元焰気味 ②灰 / 灰 ③チャート、白色粒、褐色粒 ④脚台部 2/3	外面: 轆轤整形。 内面: 轆轤整形。	内底面平滑。
	7	土師器 甕	口径: 19.1 底径: - 器高: <11.2>	①普通 ②明赤褐 / 明赤褐 ③石英、黒色鉱物、褐色粒 ④口縁部~胴部上位 2/3	外面: 口縁部ヨコナデ。頸部棒状工具による横位ナデ。胴部ヘラ ケズリ。 内面: 口縁部ヨコナデ。胴部木口状工具によるナデ。	
	8	羽釜	口径: (21.2) 底径: - 器高: <10.1>	①酸化焰 ②オリーブ黒 / オリーブ黒 ③黒色鉱物、白色粒、褐色粒 ④口縁部片	外面: 轆轤整形。胴部に斜縦位ヘラナデ。鈔貼付。 内面: 轆轤整形。	

第6表 遺物観察表 (3)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
SI-16	9	丸瓦	凸面：ヘラナデ 凹面：布目痕、糸切り痕 厚さ：1.5 / 焼成：酸化焙。 色調：にぶい橙。 胎土：チャート、黒色鈹物、白色粒。 残存：破片。			
	10	石製品 白玉	長さ：2.3 幅：2.3 厚さ：0.9 重さ：8.88 g / 石材：滑石。 残存：一部欠損。			
	11	鉄製品 棒状鉄製品	長さ：<14.2> 幅：0.8 厚さ：0.45 重さ：10.70 g / 残存：両端部欠損。			
SI-17	1	須恵器 坏	口径：(8.8) 底径：4.9 器高：2.0	①酸化焙 ②にぶい橙 / にぶい橙 ③黒色鈹物、白色粒、褐色粒 ④口縁部～体部 2/3 欠損	外面：轆轤整形。底部左回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	2	須恵器 碗	口径：— 底径：(6.6) 器高：<1.6>	①還元焙気味 ②灰白 / 灰白 ③黒色鈹物、褐色粒 ④高台部のみ	外面：轆轤整形。底部回転糸切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	3	石製品 砥石	長さ：<8.0> 最大幅：4.0 最大厚：3.1 重さ：182.68 g / 石材：流紋岩。 残存：上端部欠損。			4面使用。
	4	鉄製品 鈎状鉄製品	長さ：(21.4) 幅：0.6 厚さ：0.5 重さ：34.88 g / 残存：一部欠損。			
SI-18	1	須恵器 坏	口径：9.7 底径：— 器高：<2.3>	①酸化焙 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③チャート、黒色鈹物、白色粒 ④底部欠損	外面：轆轤整形。体部ナデ。 内面：轆轤整形。	
	2	土師器 碗	口径：(16.2) 底径：7.3 器高：5.6	①酸化焙 ②にぶい橙 / にぶい橙 ③チャート、黒色鈹物、白色粒、褐色粒 ④口縁部～体部 2/3 欠損	外面：轆轤整形。体部ヘラナデ後、下位ヘラケズリ。高台貼付後ナデ。 内面：轆轤整形。	
	3	灰釉陶器 碗	口径：(14.5) 底径：(7.2) 器高：5.0	①還元焙 ②灰白 / 灰白、釉：灰白 ③白色粒 ④ 2/3	外面：轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	釉葉漬け掛け。 虎渓山1号窯式段階 (10世紀後半)。
	4	土釜	口径：(22.4) 底径：— 器高：<9.3>	①普通 ②にぶい褐 / 橙 ③チャート、黒色鈹物 ④口縁部～胴部片	外面：口縁部ヨコナデ、指頭圧痕。胴部ヘラナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
	5	土師器 鉢	口径：(23.4) 底径：— 器高：<10.1>	①良好 ②橙 / 橙 ③黒色鈹物、白色粒、褐色粒 ④口縁部～体部 1/3	外面：轆轤整形。体部ヘラナデ。 内面：轆轤整形。体部ミガキだが、単位・方向ともに不明瞭。	
SI-19	1	縄文土器 深鉢	口径：(17.0)	①良好 ②赤褐 ③石英・白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/3	波状口縁。 外面：単筋縄紋 (RL) 一隆帯で蛇行垂下文。 内面：口縁部横位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	加曾利 E II 式。
	2	縄文土器 深鉢	底径：10.8	①やや良好 ②橙 ③石英・白色岩粒・赤色岩流・白色岩粒 ④胴部下半 3/4、底部 1/1	平底。 外面：単筋縄紋 (LR) 一丸頭状工具による2条1対の沈線で縦位区画。 内面：縦位ミガキ。	加曾利 E II 式。
SI-21	1	須恵器 坏	口径：13.8 底径：6.5 器高：4.5	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部 1/5 欠損	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。	器形に歪みあり。
	2	須恵器 坏	口径：13.9 底径：7.7 器高：3.7	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③白色粒、褐色粒 ④完形	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。	器形に歪みあり。
	3	須恵器 坏	口径：(13.0) 底径：(6.8) 器高：3.3	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③白色粒 ④ 1/4	外面：轆轤整形。底部回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	4	須恵器 坏	口径：(12.4) 底径：(6.5) 器高：3.2	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③白色粒 ④ 1/2	外面：轆轤整形。底部回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。	
	5	須恵器 碗	口径：(17.1) 底径：(8.8) 器高：6.2	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③白色粒 ④ 1/3	外面：轆轤整形。底部回転糸切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	6	須恵器 碗	口径：15.8 底径：8.0 器高：6.3	①酸化焙気味 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③白色粒、褐色粒 ④ 2/3	外面：轆轤整形。底部回転糸切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
	7	須恵器 碗	口径：16.3 底径：8.0 器高：6.3	①還元焙 ②黄灰 / 灰白 ③白色粒 ④口縁部 1/3 欠損	外面：轆轤整形。底部回転糸切り。高台貼付後周縁回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
SI-22	1	須恵器 碗	口径：14.8 底径：9.2 器高：7.2	①酸化焙 ②にぶい黄橙 / にぶい褐 ③白色粒、褐色粒 ④一部欠損	外面：轆轤整形。高台貼付後回転ナデ。 内面：轆轤整形。	
SD-2	1	須恵器 蓋	口径：17.0 底径：— 器高：5.1	①還元焙 ②灰白 / 灰白 ③黒色鈹物、白色粒 ④口縁部一部欠損	外面：轆轤整形。天井部回転ヘラケズリ。摘み貼付。摘み径 4.0 cm。 内面：轆轤整形。天井部を除き自然釉付着。	内面天井部に「×」 の線刻あり。
	2	土師器 坏	口径：(12.1) 底径：— 器高：<5.7>	①普通 ②にぶい褐 / 褐 ③石英、白色粒 ④口縁部～体部 1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部ヘラナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	
	3	土師器 高坏	口径：(20.0) 底径：— 器高：<6.7>	①良好 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③石英、白色粒 ④坏部 1/3	外面：口縁部ヨコナデ後、下半ヘラナデ。坏部ヘラナデ。 内面：口縁部上半ヨコナデ。口縁部下半～坏底部ヘラナデ。	
	4	土師器 高坏	口径：— 底径：— 器高：<7.1>	①良好 ②明赤褐 / 橙 ③石英、白色粒、赤褐色粒 ④脚部のみ	外面：脚部縦位ミガキ。裾部斜位ミガキ。 内面：脚部ヘラナデ。裾部ヨコナデ。	
	5	土師器 壺	口径：— 底径：6.8 器高：—	①普通 ②橙 / 橙 ③石英、黒色鈹物、白色粒 ④口縁部・胴部下位欠損	外面：胴部ハケメ後ミガキ。底部ヘラケズリ後斜横位ミガキ。底部ミガキ。 内面：胴部ヘラナデ。底部器面剥落。	
	6	土師器 壺	口径：(18.0) 底径：8.9 器高：32.1	①普通 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④口縁部 1/2・胴部 1/4 欠損	外面：口縁部ハケメ後縦位ミガキ。胴部ハケメ後ミガキ、下端ヘラナデ。底部ヘラナデ。 内面：口縁部上半ヨコナデ、下半ハケメ。胴部～底部ヘラナデ。	

第7表 遺物観察表(4)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
SD-2	7	土師器 壺	口径：一 底径：15.7 器高：<2.0>	①良好 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③石英、白色粒、褐色粒 ④底部	外面：底部ヘラナデ、指ナデ。 内面：底部ヘラナデ、指ナデ。		
SK-1	1	縄文土器 浅鉢	底径：10.0	①やや良好 ②橙 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒 ④胴部下半～底部 1/1	平底。 外面：縦位ミガキ。 内面：ナデ。	中期後葉。	
SK-2	1	縄文土器 深鉢	口径：(44.2)	①やや良好 ②暗褐 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/3	平口縁。 外面：口縁部を隆帯でS字状区画→区画内に燃系紋(L)→隆帯脇に沈線。隆帯上に沈線で両頭嵌手文。胴部に燃系紋(L)→隆帯で渦巻文等。内面：横位ナデ。	加曾利EⅡ式。	
	2	縄文土器 深鉢	底径：11.0	①やや良好 ②橙 ③石英・白色岩粒 ④胴部下半 3/4、底部 1/1	浅い上底。 外面：縦筋縄紋(RLR)→2条1対の隆帯で縦位区画・単隆帯で蛇行垂下文。内面：縦位ミガキ。底面：網代痕。	加曾利EⅡ式。	
	3	縄文土器 深鉢	口径：(19.4)	①良好 ②にぶい橙 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒 ④口縁部～胴部 1/4	平口縁。外面：単筋縄紋(LR)→口唇部下・頸部をヘラ状工具による2条1対の沈線で横位区画→口唇部下沈線間に同様の工具による刺突列。口縁部・胴部に同沈線で縦位波状文等。内面：口縁部横位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	中期後葉。	
	4	縄文土器 深鉢	口径：(10.8)	①良好 ②明赤褐 ③石英・角閃石・白色岩粒 ④口縁部 1/4	平口縁。 外面：燃系紋(L)→丸頭状工具による沈線で横位区画、渦巻文等。 内面：横位ミガキ。	中期後葉。	
	5	縄文土器 深鉢	口径：(21.4)	①やや不良 ②明褐 ③石英・白色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/4	平口縁。外面：口縁部を隆帯で連弧状区画→角頭状工具による沈線で楕円状区画→区画内に集合短沈線。胴部を隆帯で縦位・弧状区画→弧状区画内を同沈線で縦位区画→矢羽状沈線。内面：口縁部斜位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	中期後葉。	
	6	縄文土器 深鉢	口径：(29.7)	①やや良好 ②明赤褐 ③石英・片岩白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部 1/8	平口縁。外面：単筋縄紋(RL)→丸頭状工具による沈線で縦位矢羽状文→波状隆帯で頸部を横位区画→口縁部・胴部を小波状隆帯で縦位区画→口唇部下の縦位区画間を小波状隆帯で連結。内面：粗い横位ミガキ。	中期後葉。	
	7	縄文土器 深鉢	口径：(22.8)	①やや良好 ②明赤褐 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒 ④口縁部 1/6	平口縁。外面：2条1対の隆帯で頸部を横位区画→楕円状工具による条線→口唇部下を2条1対の隆帯で横位、口縁部を波状隆帯で縦位区画。内面：粗い横位ミガキ。	中期後葉。	
	8	縄文土器 浅鉢	—	①良好 ②橙 ③石英・白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部～胴部 1/4	外面：口縁部を隆帯で楕円状区画・渦巻状突起→区画内に単筋縄紋(LR)→隆帯脇に丸頭状工具による沈線。内面：口縁部～胴部上半横位ミガキ、胴部下半縦位ナデ。	加曾利EⅡ式。	
	9	縄文土器 浅鉢	口径：(51.5)	①やや不良 ②明赤褐 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部～胴部 1/8	平口縁。 外面：口唇部下凹線。口縁部～胴部上端横位ミガキ、胴部斜位ミガキ。 内面：器面荒れ。	中期後葉。	
	10	石器 打製石斧	長さ：10.0 幅4.0 厚さ1.6 重さ97.4g / 石材：頁岩。				
	11	石器 打製石斧	長さ：8.3 幅3.5 厚さ1.4 重さ52.7g / 石材：頁岩。				
	12	石器 磨製石斧	長さ：5.1 幅3.3 厚さ0.9 重さ30.1g / 石材：緑色岩類。				
	13	石器 凹石	長さ：13.4 幅8.2 厚さ5.3 重さ858.6g / 石材：安山岩。				
	14	石器 敲石	長さ：5.2 幅5.3 厚さ4.4 重さ165.0g / 石材：安山岩。				
	15	石器 多孔石	長さ：29.7 幅21.7 厚さ13.2 重さ12350.0g / 石材：安山岩。				
SK-4	1	須恵器 坏	口径：10.5 底径：5.2 器高：3.1	①酸化焙 ②にぶい黄橙 / にぶい黄橙 ③黒色鉱物、白色粒 ④ 1/2	外面：轆轤整形。底部右回転糸切り未調整。 内面：轆轤整形。		
2	鉄製品 棒状鉄製品	長さ：<6.0> 幅：0.7 厚さ：0.3 重さ：2.83g / 残存：上端部欠損。					
SK-6	1	縄文土器 深鉢	口径：(21.0)	①やや良好 ②明黄褐 ③角閃石・石英・白色岩粒 ④口縁部 3/4	波状口縁。外面：口唇部下を隆帯で弧状区画→区画内に尖頭状工具による刺突列。ヘラ状工具による2条1対の沈線で内文・舌状文→空白部に単筋縄紋(LR)。内面：横位ミガキ。	加曾利EⅣ式。	
	2	縄文土器 深鉢	口径：23.4	①やや良好 ②明黄褐 ③石英・白色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/2	平口縁。外面：口唇部下を隆帯で弧状区画→ヘラ状工具による2条1対の沈線で縦位区画→縦位区画内に無筋縄紋(L)。内面：横位ミガキ。	加曾利EⅤ式。	
	3	縄文土器 深鉢	口径：(31.6)	①やや良好 ②明黄褐 ③石英・白色岩粒 ④口縁部～胴部 1/2	平口縁。外面：口唇部下を隆帯で横位区画→丸頭状工具による2条1対の沈線で縦位区画→区画内に無筋縄紋(L)。内面：横位ミガキ。	加曾利EⅣ式～ 称名寺I式。	
	4	縄文土器 注口土器	口径：(7.7)	①不良 ②浅黄 ③石英 ④口縁部 1/1	平口縁。注口。 外面：横位橋状把手。屈曲部に微隆起線紋。 内面。器面荒れ。	加曾利EⅣ式～ 称名寺I式。	
	5	縄文土器 蓋	口径：(7.7) 器高：2.0	①不良 ②浅黄 ③石英 ④ 1/3	穿孔。内外面：ナデ。赤彩痕。	加曾利EⅣ式～ 称名寺I式。	
	6	土製品 円盤	—	①不良 ②明黄褐 ③石英・白色岩粒	表面：沈線・単筋縄紋(LR)。裏面：器面荒れ。長さ：4.3・幅3.7・厚さ1.0・重さ16.7g。	中期後葉～後期 初頭	
	7	石器 凹石	長さ：10.2 幅7.7 厚さ5.7 重さ629.6g / 石材：安山岩。				
	8	石器 凹石	長さ：11.7 幅6.8 厚さ4.7 重さ482.4g / 石材：安山岩。				
	9	石器 凹石	長さ：12.0 幅10.8 厚さ7.3 重さ1259.7g / 石材：安山岩。				
	10	石器 凹石	長さ：14.6 幅8.0 厚さ4.7 重さ762.5g / 石材：安山岩。				
	11	石器 石皿	長さ：31.1 幅22.5 厚さ7.6 重さ5150.0g / 石材：安山岩。				

第8表 遺物観察表(5)

遺構名	番号	器種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 (内/外) ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
SK-6	12	石器 石皿	長さ: 20.5 幅 14.8 厚さ 5.8 重さ 1181.0g	／石材: 安山岩。		
	13	石器 多孔石	長さ: 23.0 幅 17.8 厚さ 8.7 重さ 3725.0g	／石材: 安山岩。		
	14	石器 多孔石	長さ: 33.1 幅 30.9 厚さ 13.2 重さ 15750.0g	／石材: 安山岩。		
SK-19	1	縄文土器 深鉢	口径: (29.2)	①良好 ②明赤褐 ③石英・白色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/3	平口縁。外面: 口縁部を隆帯で渦巻繋ぎ弧状に区画→区画内に角頭状工具による集合短沈線。胴部を波状隆帯で横位区画→隆帯で縦位区画→無節細紋 (L)。内面: 口頭部横位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	加曽利 E II 式。
	2	縄文土器 深鉢	—	①良好 ②にぶい黄橙 ③石英 ④口縁部 ～胴部上端片	波状口縁。外面: 口縁部に隆帯・凹線で渦巻文・楕円状区画→口縁部区画内・胴部に単節細紋 (LR) →丸頭状工具による沈線。内面: 口縁部横位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	加曽利 E II 式。
	3	石器 石錐	長さ: 4.9 幅 1.1 厚さ 0.9 重さ 4.9g	／石材: 黒曜石。		
	4	石器 石匙	長さ: 7.8 幅 3.3 厚さ 1.1 重さ 30.9g	／石材: 頁岩。		
	5	石器 打斧	長さ: 10.3 幅 4.2 厚さ 1.8 重さ 106.2g	／石材: 頁岩。		
	6	石器 凹石	長さ: 13.0 幅 5.0 厚さ 3.2 重さ 265.3g	／石材: 安山岩。		
	7	石器 凹石	長さ: 11.8 幅 9.9 厚さ 7.4 重さ 1231.0g	／石材: 安山岩。		
SK-20	1	石器 磨斧	長さ: 7.1 幅 5.5 厚さ 2.3 重さ 135.4g	／石材: 緑色岩類。		
SK-21	1	縄文土器 深鉢	口径: 16.5	①やや不良 ②橙 ③石英・白色岩粒 ④口縁部～胴部上半 1/1	小波状口縁。外面: 口縁部を隆帯で連弧状区画→区画内に丸頭状工具による集合短沈線→隆帯脇に沈線。胴部に単節細紋 (RL)。内面: 口縁部器面荒れ、胴部縦位ミガキ。	加曽利 E II 式。
SK-23	1	縄文土器 深鉢	—	①やや良好 ②橙 ③石英・白色岩粒 ④胴部上半 3/4	外面: 無節細紋 (L) →丸頭状工具による 3 条 1 対の沈線で縦位区画→区画間に同沈線で横位長楕円文→長楕円文間に 3 条 1 対の短沈線→楕円文内・沈線間に角頭状工具による細沈線。内面: 斜位ミガキ。	加曽利 E II 式。
SK-24	1	縄文土器 深鉢	口径: (33.6)	①良好 ②橙 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部～胴部 1/3	平口縁。外面: 丸頭状工具による沈線で逆 U 字文・蕨手状懸垂文。沈線間に複節細紋 (RLR)。内面: 口縁部横位ミガキ、胴部縦位ミガキ。	加曽利 E III 式。
SK-26	1	石器 石鏃	長さ: 3.4 幅 2.6 厚さ 1.0 重さ 8.0g	／石材: 黒色安山岩。		
SK-33	1	縄文土器 深鉢	口径: (23.8)	①やや不良 ②明赤褐 ③石英・黒色鉱物・ 白色岩粒・赤色岩粒 ④口縁部～胴部 1/4	平口縁。外面: 渦巻状突起。単節細紋 (RL) →半截竹管状工具による平行沈線で横位区画、対弧文・渦巻文等。内面: 口縁部粗い横位ミガキ、胴部器面荒れ。	諸磯 b 式。
	2	石器 凹石	長さ: 13.2 幅 12.3 厚さ 7.7 重さ 1398.2g	／石材: 安山岩。		
SK-39	1	石器 石鏃	長さ: 2.3 幅 1.9 厚さ 0.5 重さ 1.3g	／石材: 黒曜石。		
SK-44	1	石器 凹石	長さ: 15.3 幅 8.5 厚さ 4.5 重さ 723.7g	／石材: 安山岩。		
SK-47	1	縄文土器 深鉢	底径: 8.2	①やや良好 ②橙 ③角閃石・石英・白色岩粒・赤色岩粒 ④胴部下半 1/3、底部 1/1	平底。 外面: 縦位ミガキ。 内面: 斜位ナデ。	
	2	縄文土器 深鉢	—	①やや良好 ②明黄褐 ③石英・黒色鉱物・白色岩粒 ④突起	鳥獸状突起。内外面: 隆帯で S 字状・渦巻状文。	称名寺 I 式
P-5	1	灰釉陶器 碗	口径: 9.2 底径: 9.2 器高: <4.6>	①還元焼 ②灰黄/灰黄、釉: 灰オリーブ ③黒色鉱物、白色岩粒 ④体部～高台部	外面: 轆轤整形。底部切り離し、高台貼付後回転ナデ。 内面: 轆轤整形。	灰釉漬け掛け。 内面に重ね焼き 痕あり。

※灰釉陶器の帰属年代については、三浦京子 1988 「群馬県における平安時代後期の土器様相」『群馬の考古学』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団を参考にした。

第9表 遺物観察表(6)

遺構名	土器					瓦	鉄製品	銀冶関 連遺物 (鉄滓)	土製品	石器・石製品
	縄文 土器	弥生 土器	土師器	須恵器	灰釉 陶器					
SI-1	8015		20520	234		50			1	スクレイパー(頁2)、打製石斧(頁4)、凹石(安3)、石皿(安1)、剥片・石核(黒12・頁23・ チ1)、石製模造品(滑1)
SI-2	4432	1097	635	1079	82	89		1		石鏃(黒1)、打製石斧(頁1)、砥石(流1)、剥片・石核(黒8・頁16)
SI-3	7968	31	2507	219				1		打製石斧(頁1)、剥片・石核(黒5、頁11、チ1)
SI-4	1016	3	1325	308	23					打製石斧(頁2)、剥片・石核(黒1・頁2)
SI-5	5883	13	1473	1696	194	3	10			石鏃(黒1)、打製石斧(頁7)、スクレイパー(頁1)、剥片・石核(黒36・頁13)、砥石(流1)
SI-6	360		452	395	74					磨石(安1)、剥片・石核(黒1・頁1)
SI-7	3503	43	4695	924	330		1	1		打製石斧(頁1)、凹石(1)、剥片・石核(黒19・頁8)
SI-8	2254	10	3378	2084			2	2	1	凹石(安1)、剥片・石核(黒4・頁4)
SI-9	2825	9	1497	2030	8					石鏃(黒1)、スクレイパー(頁1)、打製石斧(頁1)、剥片・石核(黒4・頁8)
SI-10	4298	44	1199	827	135		1	1		打製石斧(頁1)、凹石(安1)、剥片・石核(黒4・頁6)、薦網石(安7)
SI-11	1158	7	4744	971	21		1	1		石鏃(チ1)、打製石斧(頁1)、凹石(安1)、剥片・石核(黒16・頁11・チ2)
SI-12	151	2244	44							剥片・石核(黒4)
SI-13	3197	33	1193	519				1		打製石斧(頁2)、多孔石(安1)、砥石(流1)、剥片・石核(頁6)
SI-14	938	5	686	444	11		1			打製石斧(頁2)、剥片・石核(黒1・頁5・チ2)
SI-15	3610		1034	394						剥片・石核(黒7・頁1)

第10表 出土遺物量一覧表(1)

遺構名	土器						瓦	鉄製品	鍛冶関連遺物(鉄滓)	土製品	石器・石製品
	縄文土器	弥生土器	土師器	須恵器	灰釉陶器	陶器・磁器					
SI-16	8321	30	3726	2128	766		124	3	2		スクレイパー(頁1)、打製石斧(頁1・安1)、剥片・石核(黒20・頁8・チ1)、白玉(滑1)
SI-17	1769		1439	614	18	5		2			スクレイパー(黒1)、打製石斧(頁2)、多孔石(安1)、剥片・石核(黒6・頁7)、砥石(流1)
SI-18	326		2265	70	261			1			打製石斧(頁2)、剥片・石核(黒1・頁2)
SI-19	3644		29								スクレイパー(頁1)、打製石斧(頁2・安1)、凹石(安1)、棒状礫(片1)、剥片・石核(黒11・頁4・安2)
SI-20	148		236								
SI-21	207		302	972							剥片・石核(頁1)
SI-22	524		571	4							凹石(安4)
SD-1	303	8	31	3							剥片・石核(頁1)
SD-2	3768	234	9095	505	15	7	57		1		打製石斧(頁5)、凹石(安3)、磨石(安1)、石皿(片1)、剥片・石核(黒30・頁26)
SK-1	2115										
SK-2	33445	16	57	7							
SK-3	284	37	7	141							剥片・石核(黒1・頁1)
SK-4	352		77	346				1			打製石斧(頁1)、剥片・石核(黒2・頁3)
SK-5	387	7	44	20							スクレイパー(頁1)、剥片・石核(頁1)
SK-6	19056			2					2		打製石斧(頁2)、スクレイパー(黒1・頁2・安1)、凹石(安10)、磨石(安2)、石皿(安4)、多孔石(安2)、台石(安8)、棒状礫(片1)、剥片・石核(黒10・頁6・安4)
SK-7	177	28	35	135	6	78	16	185			打製石斧(安1)、剥片・石核(頁1・チ1)、砥石(流1)
SK-8	4320		136	164							石鏃(黒1)、スクレイパー(黒1)、石皿(安1)、剥片・石核(黒17・頁8・チ1・安2)
SK-9	1275		9	8							打製石斧(頁1)、凹石(安3)、剥片・石核(頁1・安1)
SK-10	288										剥片・石核(黒2・頁1・チ1・安1)
SK-11	105										スクレイパー(頁1)、剥片・石核(黒2・頁1)
SK-12	286			2							スクレイパー(黒1)
SK-13	33										台石(安1)
SK-14	139										
SK-15	41										
SK-16	39										
SK-17	104										スクレイパー(頁1)、剥片・石核(黒2)
SK-18	201										剥片・石核(黒3)
SK-19	1760										スクレイパー(黒1)、剥片・石核(黒4)
SK-21	2294										剥片・石核(黒4・頁2・安1)
SK-23	321										
SK-24	2495										剥片・石核(黒2)
SK-25	254										スクレイパー(頁1)、剥片・石核(黒1)
SK-26	83										石鏃未製品(安1)
SK-28	150		59	31							剥片・石核(頁1)
SK-29	75			53							
SK-30	182										
SK-31	261										
SK-32	167		33								
SK-33	6046		50	127							スクレイパー(頁1)、凹石(安1)、磨石(安1)、砥石(安1)、剥片・石核(頁3・安1)、砥石(砂1)
SK-34	317										剥片・石核(頁1)
SK-35	42										
SK-36	42										打製石斧(頁1)
SK-37	217		16	7			1				
SK-38	71			63							
SK-39	1561		35	4							石鏃(黒1)、剥片・石核(黒3)
SK-40	25										
SK-41	124		43	39				1			打製石斧(頁1)
SK-42	335			25							剥片・石核(頁1)
SK-43	408	11	5	266	45						スクレイパー(頁1)、剥片・石核(黒1)
SK-44	715		16								凹石(安1)、磨石(安1)
SK-45	1690		2								剥片・石核(黒1)
SK-46	83		2								
SK-47	1573										石鏃未製品(黒1)、剥片・石核(黒2・頁3)
SK-48	436										スクレイパー(黒1)、凹石(安1)、剥片・石核(黒2・頁2)
SK-49	24		29								剥片・石核(黒4)
SK-50	111		6								
P-1	33		72								
P-2	591										
P-3				50							
P-4			6								
P-5					189						
P-6	223										
P-7	14			9							剥片・石核(黒1・頁1)
遺構外	23953	11	1177	2476	37	297	64	1			石鏃(黒1)、スクレイパー(黒2・頁6)、石鏃(黒1)、石匙(頁1)、打製石斧(頁6・安4)、磨製石斧(緑色岩類1)、凹石(安1)、磨石(安3)、棒状礫(片1)、剥片・石核(黒79・頁27・安12・鉄石英1)、砥石(流2・砂1)

※土器・瓦は重さ(g)、鉄製品・鍛冶関連遺物・土製品・石器・石製品は点数で示してある。 黒:黒曜石 頁:頁岩 安:安山岩 チ:チャート 片:片岩 流:流紋岩 滑:滑石 砂:砂岩

第11表 出土遺物量一覧表(2)

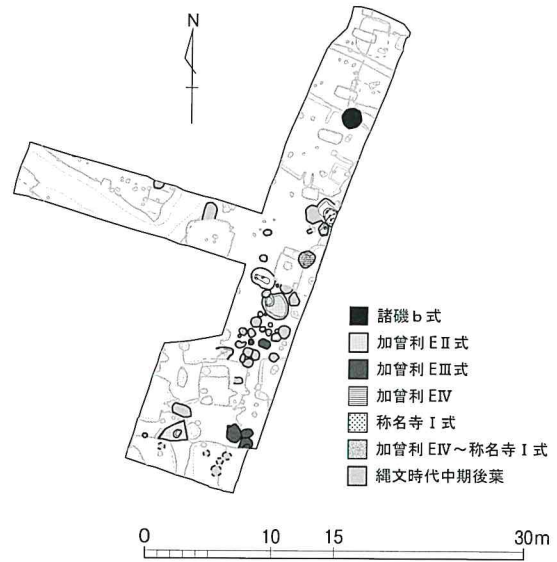
VI まとめ

今回の調査では縄文時代～As-B 降下以降にわたる遺構・遺物が検出された。ここでは、第V章で述べた事実記載に若干の補足を加え、各時代の遺構変遷を明らかにしまとめとしたい。

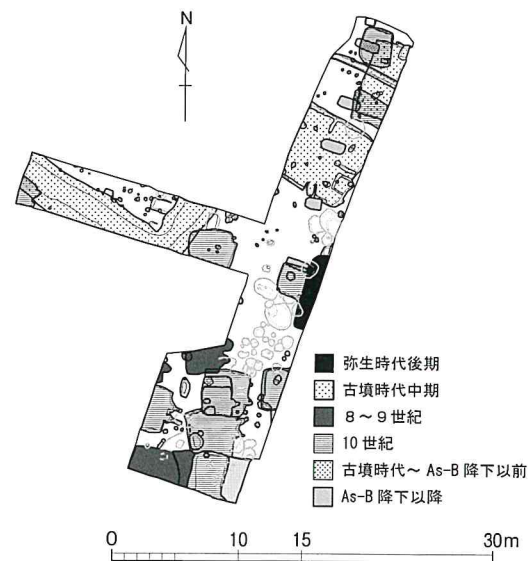
I期：縄文時代前期後半（諸磯b式）。調査区北側で検出されたSK-33が該当する。当該期の遺構は本遺構1基のみである。II a～II c期：縄文時代中期後葉（加曾利E II～E IV式）。II a期はSI-19、SK- 2・19・21・23、II b期はSK-12・24、II c期はSK-45が該当する。他に第1～3表において縄文時代としたものの多くは出土遺物から縄文時代中期後葉に帰属するものと考えられる。これらの土坑は調査区中央に密な分布が認められる。III期：縄文時代後期初頭（称名寺I式）。SK-47が該当する。なお、加曾利E IV式～称名寺I式としたSK- 6について

も本段階に含まれるものとしてたい。IV期：弥生時代後期（樽式）。SI- 2が該当する。当該期の遺構は本遺構1基のみである。V期：古墳時代中期。SI- 1・3・9、SD- 2が該当する。住居跡は調査区北側で検出された。SD- 2は調査区内でL字に屈曲する大型の溝である。SI- 1・3・9と何らかの有機的な関係が想定されるが今回の調査では明らかにすることができなかった。VI a・VI b期：奈良平安時代（8～10世紀）。VI a期はSI- 8・12・13・15が該当する。VI b期はSI- 4・5・6・7・10・11・14・16・17・18・21・22が該当する。検出された住居跡では当該期のものが最も多く調査区全域に分布する。VII期：As-B 降下以降。SK- 3・4・5・7・41が該当する。これらの土坑は南北方向に4～5mの間隔を保ち配置されている点、平面形態・断面形態が一致している点から同時期に機能していたことが想定される。ただし、出土遺物がほとんど認められず性格については不明である。

以上、今回の調査で検出された遺構をI～VII期に分類した。本遺跡が立地する八幡台地では、縄文時代草創期から後期の遺構・遺物が検出されており、特に中期後葉～後期中葉に帰属する集落が多く認められる。また、弥生時代後期・古墳時代中期には、碓氷峠から関東平野に入る交通の要衝としての地勢を背景として大規模な集落が形成されていたことが知られている。律令期における集落の形成には東山道駅路・片岡郡との関連が指摘されており、特に片岡郡の存在を示す事例は近年蓄積されつつある。今回検出された各時代の遺構は既往の調査において得られた調査成果を補完する事例であるといえよう。



第40図 縄文時代遺構分布図



第41図 弥生時代以降遺構分布図

写真図版



遺跡の位置と周辺の地形（1999年国土地理院撮影）

国土地理院ホームページ「地図・空中写真閲覧サービス」を利用し、一部改変



調査区遠景（東から）



調査区全景（上が西）



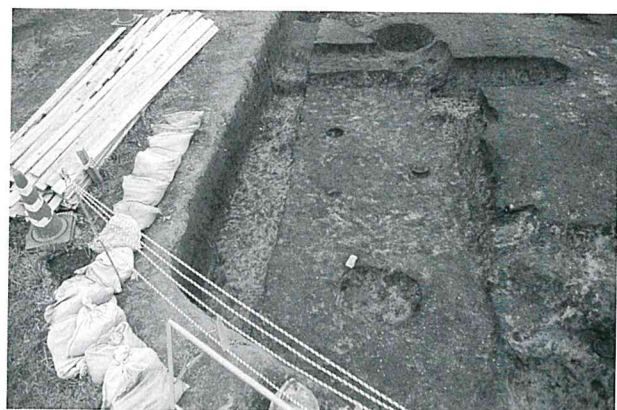
SD - 2号溝 (東から)



SI - 1号住居跡 (北から)



SI - 1号住居跡カマド (北から)



SI - 3号住居跡 (北から)



SI - 4号住居跡 (西から)



SI - 5号・6号住居跡（西から）



SI - 7号住居跡（西から）



SI - 8号住居跡（西から）



SI - 10号住居跡カマド礫出土状況（西から）



SI - 11号住居跡（西から）



SI - 11号住居跡カマド2（西から）



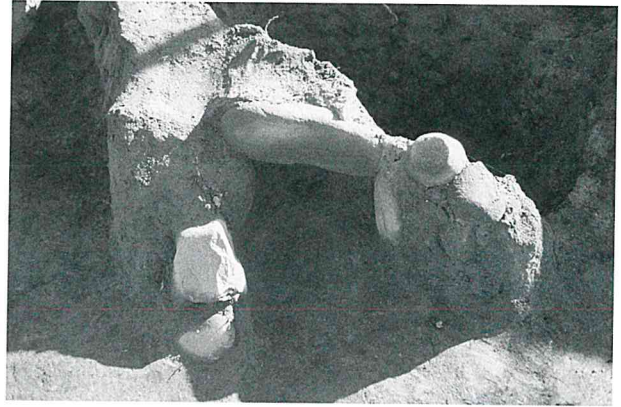
SI - 12号住居跡（西から）



SI - 14号住居跡（西から）



SI - 16 号住居跡 (西から)



SI - 16 号住居跡カマド3 (西から)



SI - 17 号住居跡 (東から)



SI - 18 号住居跡 (西から)



SI - 19 号住居跡 (南から)



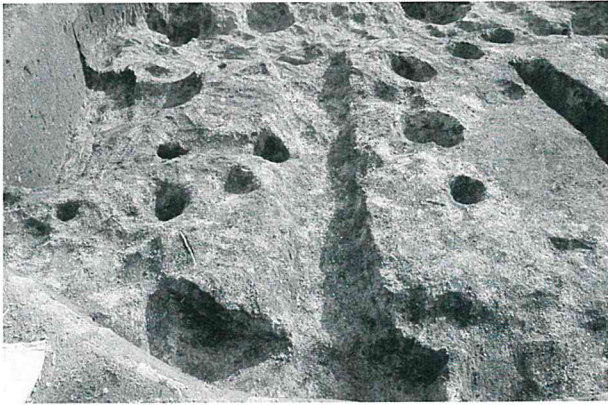
SI - 21 号住居跡 (北から)



SI - 21 号住居跡遺物出土状況 (北から)



古代住居跡群掘方 (SI - 5 号住居跡周辺、北から)



SD - 1 号溝 (西から)



SD - 2 号溝 (西から)



SD - 2 号溝西端 (A-A') 土層堆積状況 (東から)



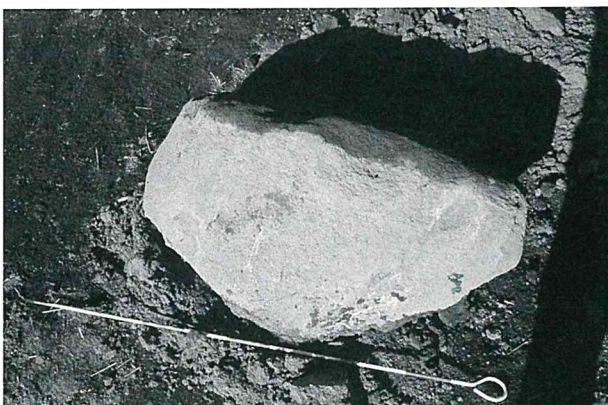
SD - 2 号溝北東端 (B-B') 土層堆積状況 (南から)



SD - 2 号溝遺物出土状況 (東から)



SD - 2 号溝大礫出土状況 (北から)



SD - 2 号溝出土大礫



SK - 1 号土坑 (南から)



SK - 2号土坑遺物出土状況 (南から)



SK - 2号土坑炉跡土層断面 (東から)



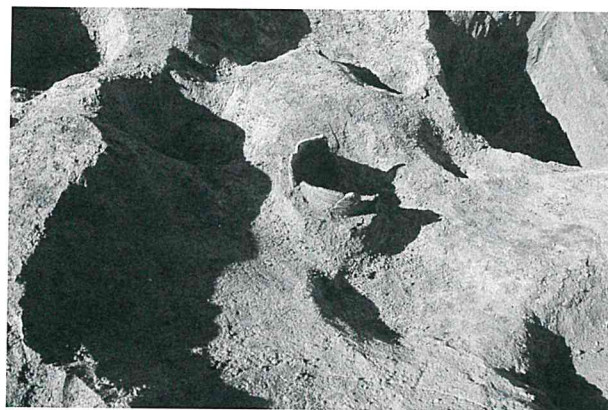
SK - 4号土坑 (西から)



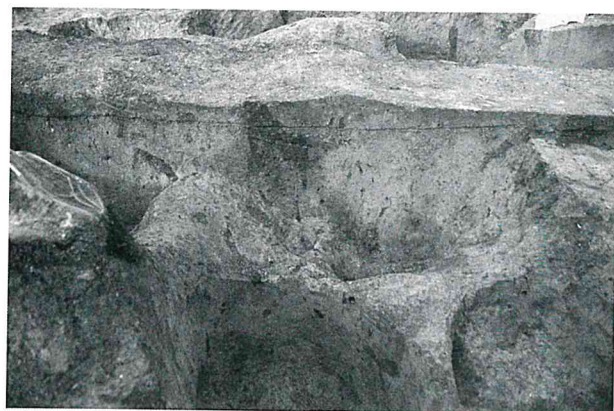
SK - 6号土坑 (西から)



SK - 19号土坑 (東から)



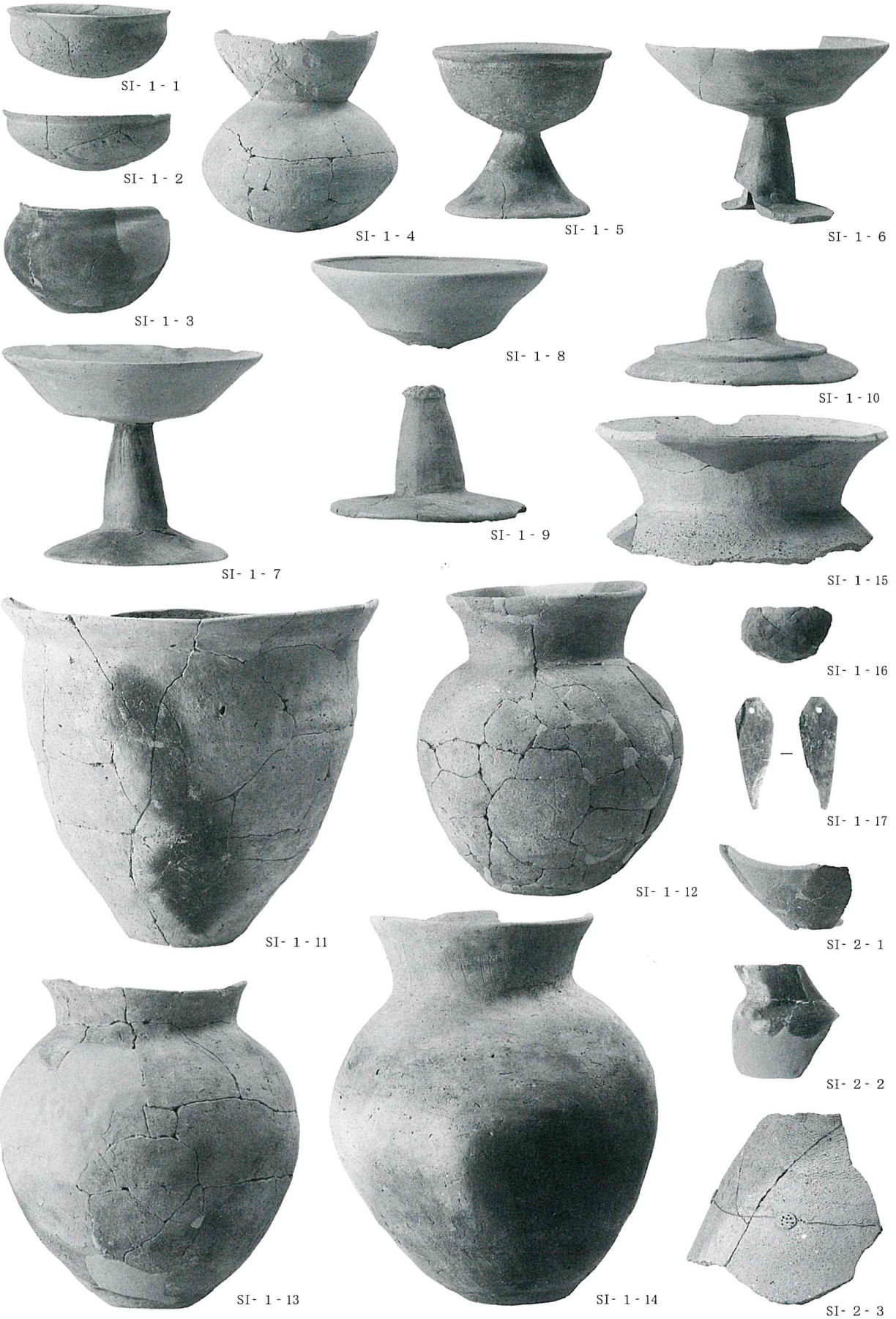
SK - 23号土坑 (北から)



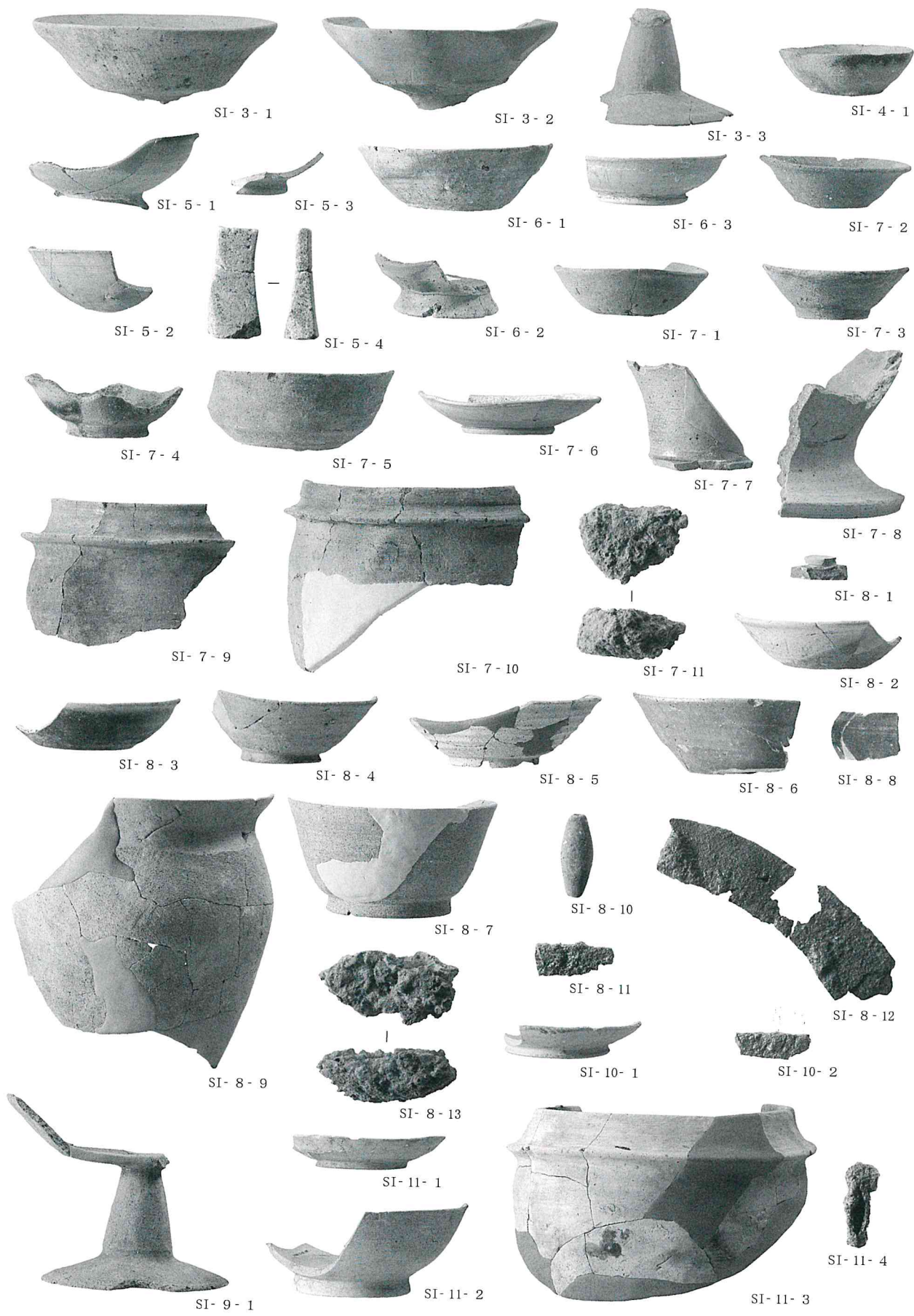
縄文時代土坑覆土堆積状況 (SK - 9号土坑、東から)



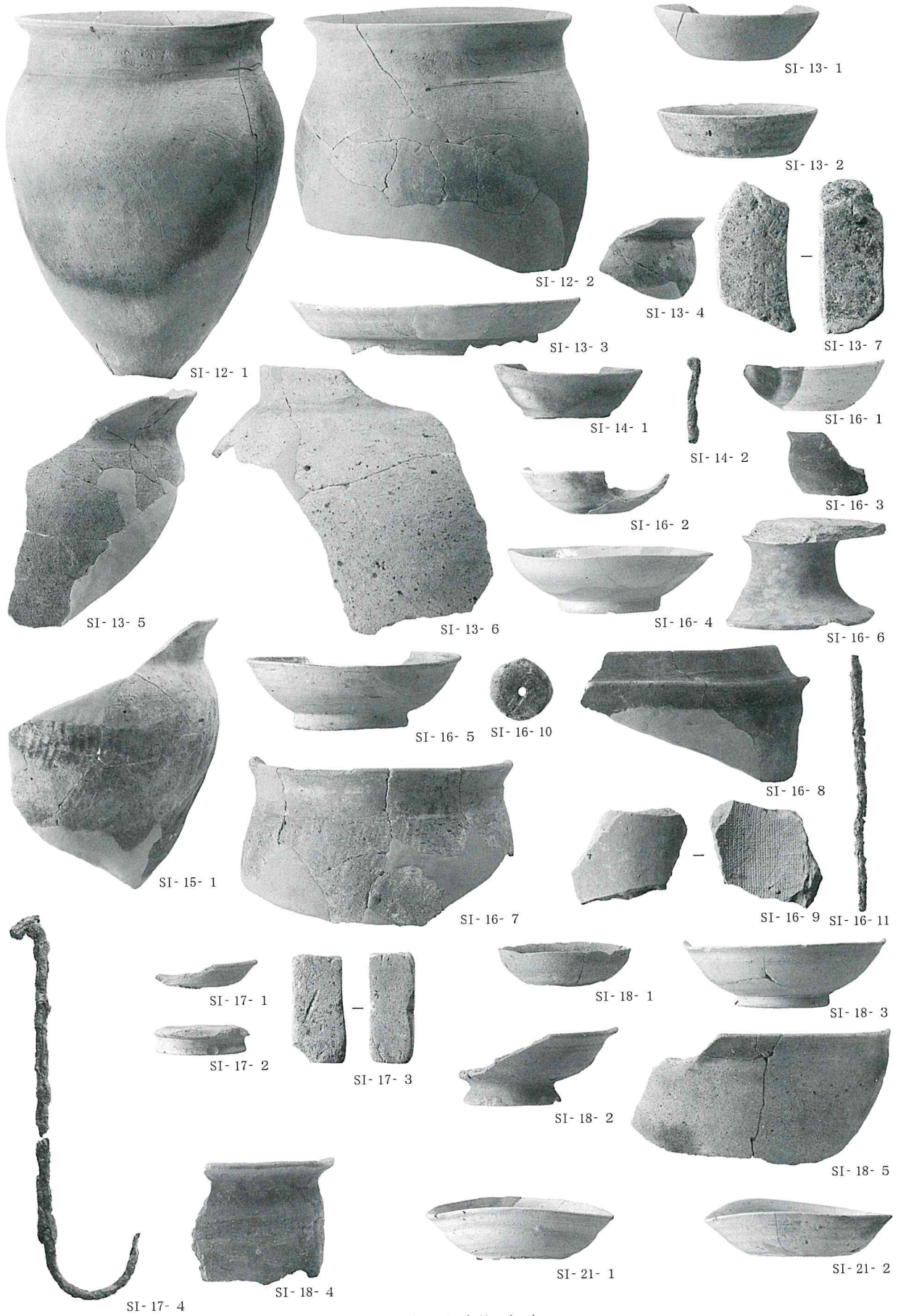
縄文時代土坑群 (西から)



住居跡出土遺物 (1)



住居跡出土遺物 (2)



住居跡出土遺物 (3)



SI-19-1



SI-19-2



SI-21-3



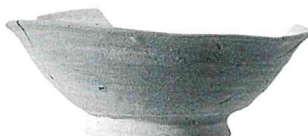
SI-21-4



SI-21-5



SI-21-6



SI-21-7



SI-22-1

住居跡出土遺物 (4)



SD-2-1



SD-2-2



SD-2-3



SD-2-4



SD-2-5



SD-2-6



SD-2-7

溝跡出土遺物



SK-1-1



SK-2-2



SK-2-4

土坑・ピット出土遺物 (1)



SK- 2 - 1



SK- 2 - 5



SK- 2 - 6



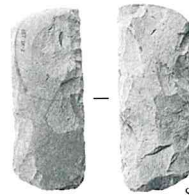
SK- 2 - 7



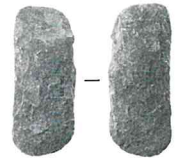
SK- 2 - 3



SK- 2 - 9



SK- 2 - 10



SK- 2 - 11



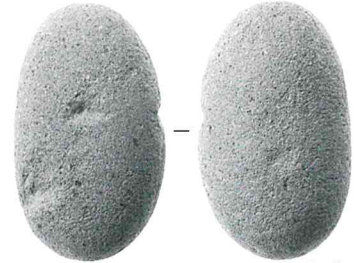
SK- 2 - 12



SK- 2 - 14



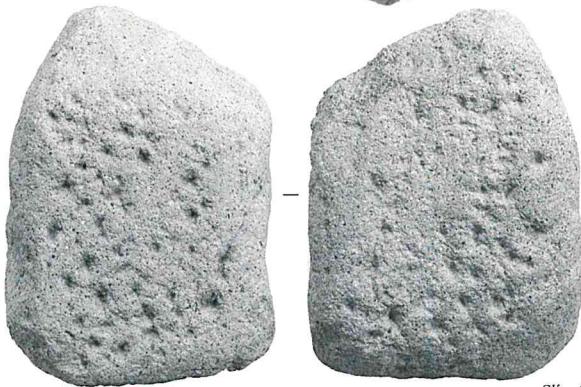
SK- 2 - 8



SK- 2 - 13



SK- 6 - 1



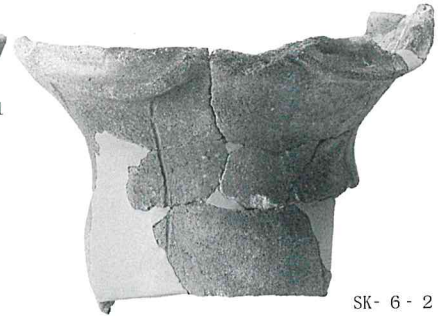
SK- 2 - 15



SK- 4 - 1



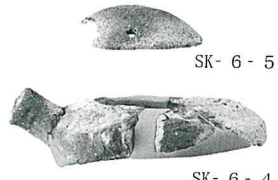
SK- 4 - 2



SK- 6 - 2

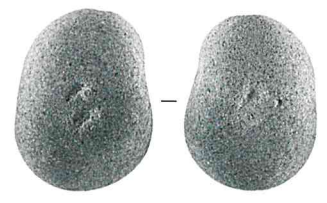


SK-6-3



SK-6-5

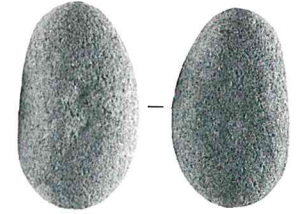
SK-6-4



SK-6-7



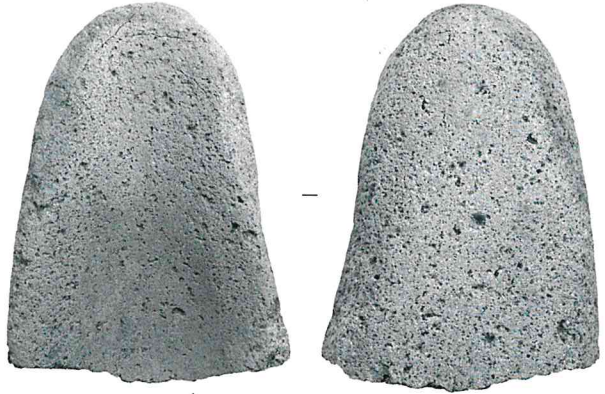
SK-6-6



SK-6-8



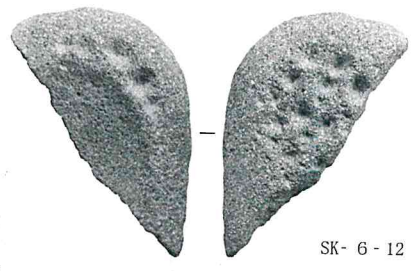
SK-6-9



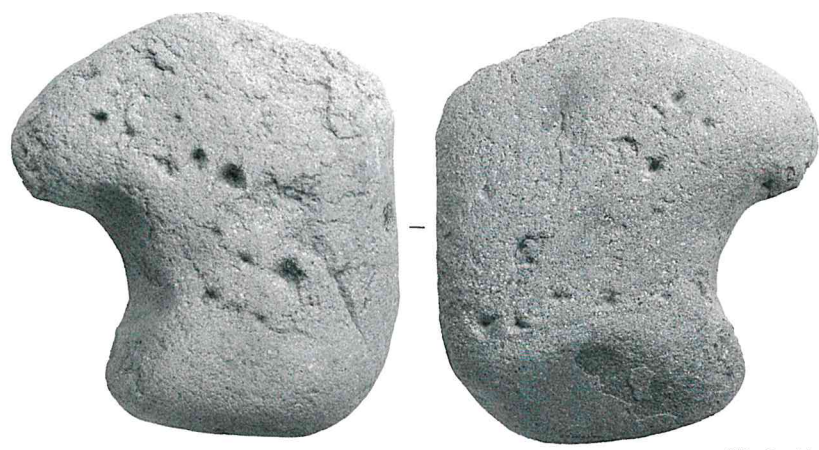
SK-6-11



SK-6-10



SK-6-12



SK-6-14



SK-19-2



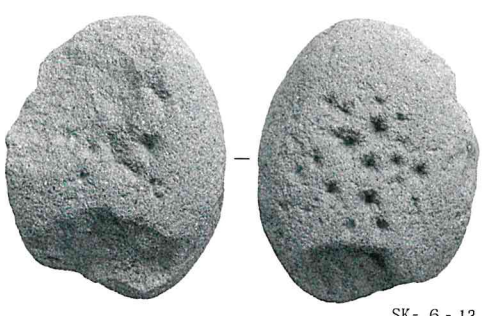
SK-19-3



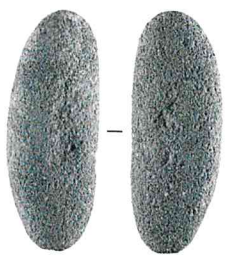
SK-19-4



SK-19-5



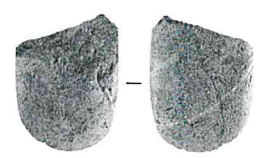
SK-6-13



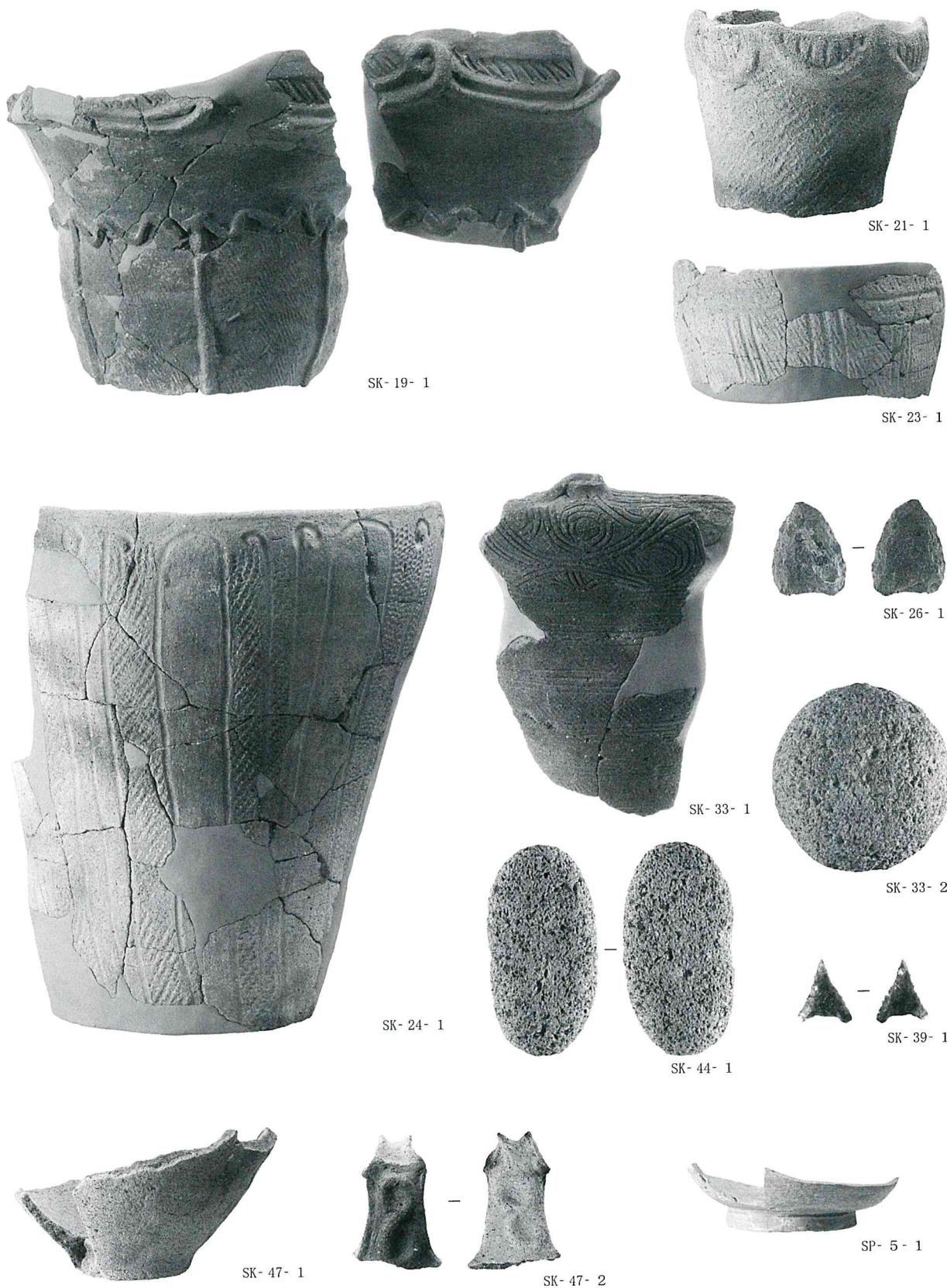
SK-19-6



SK-19-7



SK-20-1



土坑・ピット出土遺物（4）

報告書抄録

フリガナ	ケンザキイナリヅカイセキ		
書名	剣崎稻荷塚遺跡5		
副書名	宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
巻次			
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書		
シリーズ番号	第374集		
編著者名	矢島浩 石丸敦史 伊藤順一		
編集機関	有限会社 毛野考古学研究所 〒379-2146 群馬県前橋市公田町1002番地1 TEL 027-265-1804		
発行機関	有限会社 毛野考古学研究所		
発行年月日	平成28年7月25日		

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡	北緯	東経			
けんざきいなりづか 剣崎稻荷塚遺跡	ぐんまけんたかざきしけん 群馬県高崎市剣 崎町字稻荷塚767 ばんち 番地	102020	657	36° 20' 45"	139° 57' 18"	20151014 ～ 20151220	388.21 m ²	宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
剣崎稻荷塚遺跡	集落	縄文時代 古墳時代 古代	住居跡 溝 土坑	23棟 2条 50基	縄文土器 土師器 須恵器 石器	

高崎市文化財調査報告書第 374 集

剣崎稻荷塚遺跡 5

—宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—

平成 28 年 7 月 20 日印刷

平成 28 年 7 月 25 日発行

編集／有限会社毛野考古学研究所
発行／有限会社毛野考古学研究所
印刷／朝日印刷工業株式会社
